



平成28年 8月26日

栗東市議会議長  
寺田 範雄 様

要望書第 10 号

持参

要望者

住 所 栗東市靈仙寺二丁目1番29号

氏 名 〇

※団体の場合

((株) 東和ケア代表 林佐智夫 〇)



ボランティアポイント制度に関する要望書

要望の要旨

10月から実施されようとしている介護施設について運用されるボランティアポイント制度の運用について、国の高齢者住宅制度の「サービス付き高齢者住宅」にも既に地域の多くのボランティアさんに入っているのに対して対象として認めて頂きたい。

要望の理由

別紙のとおり

## ボランティアポイント制度についての要望

地域包括ケアの考えは、「住まい」・「医療」・「介護」・「生活支援」・「介護予防」が一体的に提供されるシステムづくりだと言われています。また、介護予防生活支援総合事業が2025年に向け、いよいよ来年4月から栗東市でも開始されようとしている。

2011年に新たな国の高齢者住宅施策として制度化された「サービス付き高齢者住宅」は、団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向け、核家族化を背景に増え続けている高齢者世帯や独居高齢者世帯の在宅生活を支える住まいとして生まれ、住まいにどう介護をからませた自立支援サービスが保障されるか等の課題をもってさまざまな工夫がされ、今日まで運営されてきている。

とりわけ、そこに快適な生活空間であるだけでなく、快適な暮らしが保障され、質の高い生活が享受できる環境づくりが喫緊に求められる。

生活の中に趣味や買い物、通院、御家族との外出等日常の活動を保持しながら、運動習慣や食事を確保し、対人関係やコミュニケーションの機会がつけられなければならない。また、様々な理由で様々な地域から入居され、高齢期に新しい人間関係を構築しながら健康

を保持し、生きがいや社会参加も保障されなければ、より質の高い暮らしが確保されていかなくなってしまう。御家族をはじめ、日常の生活圏域で生活されている人々との、より良い人間関係を築いていく必要がある方々です。

今までから、「ふれあい喫茶」や「地域の方々との交流」を目的に開催されている月々の各種演奏会やマジック、納涼祭やもちつき大会等催し物のボランティアに入っておられる地域の方々に対して、本来の介護保険の在宅サービスを支えるサービス付き高齢者住宅に今回の「ボランティアポイント制度」は採用しないとは、元気高齢者をつくる「ボランティアポイント制度」の趣旨や地域の実情を無視した行政の理解の欠如によるものと言わざるを得ません。

入居者の中には、御家族・親族とのご縁が少ない方、交流の機会がない方などには地域の方々の傾聴や交流の機会が励ましや生きる勇気づけが大きく自立につながっていきます。

これからいろいろな場所が拠点となって、益々地域での通いの場所が広がり、生活支援総合事業が活発となり地域の諸課題が地域の方々の手により解決されていく仕組みづくりが必要です。そんなボランティアの萌芽のひろがりをつままないよう当初からの運営ができ

ますようお願いを申し上げます。

平成28年8月26日

栗東市議会 寺田 範雄 様

サービス付き高齢者住宅

栗東市糺 シルバーハウス大宝

栗東市野尻 シルバーハウス栗東

株式会社 東和ケア 代表 林 佐智夫

